

モジュール規格書

Type N

平成 20 年 10 月 1 日

ゆる鉄モジュール倶楽部

TypeN 発足委員会

1. 基本方針『お気軽、お手軽、軽快仕様』

2. 規格詳細

①【線路の種類】接続部のみファイントラックを使用し、接続部以外は自由。

【解説】接続部がファイントラックであれば、全部ファイントラックでも、接続部以外がフレキシブルレールでもOKです。フレキシブルレールはレール天の高さや内寸幅をユファイントラックと一致する加工を行ってください。

②【線路配置】前面より1線目を56mm、2線目を37mm、3線目を74mmの間隔で3線配置。

【解説】図-1 参照。線路の名称は前面より1番線、2番線・・・とし、1、2番線を複線の幹線、3番線をローカル単線とします。

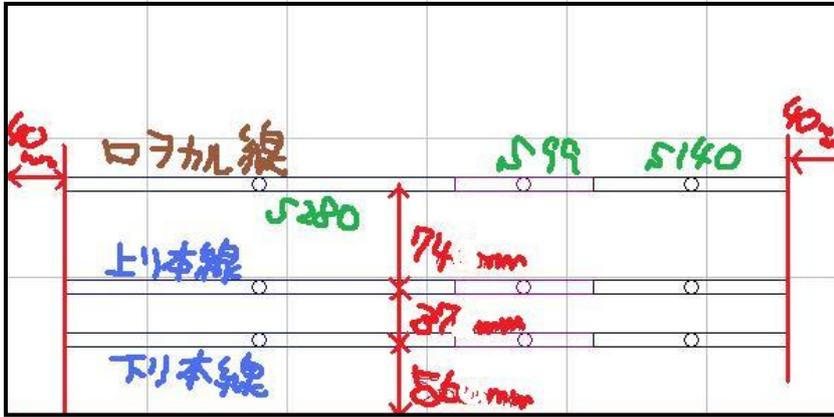


図-1 線路の配置関連の規格図

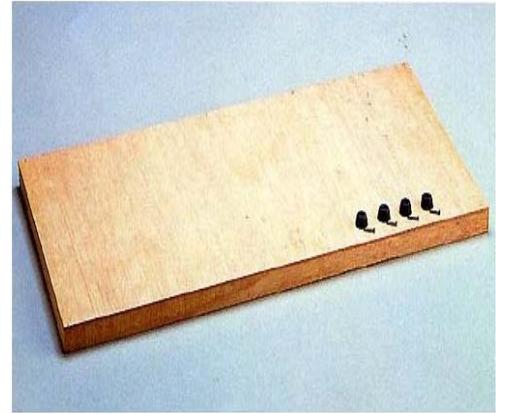


図-2 TOMIX コンビネーションボード A

③【モジュールの長さ】TOMIX のコンビネーションボード A(長さ:600mm、図-2 参照)を基本に、2枚連結するも自由(図-3 参照)。

【解説】ファイントラックを用いた場合の線路組合せを示します。

600mm : 519mm = 280+140+99 (両側に 40mm ずつスペースをもうけます (図-1 参照))。

④【モジュールの幅】TOMIX のコンビネーションボード A(幅:300mm)を基本。

⑤【モジュールの高さ】TOMIX のコンビネーションボード A(高さ:25mm+ゴム足)に直接???ファイントラックを敷設した高さを基本。

【解説】レール面から高低差がほしければボードをひっくり返してください。



図-3 コンボネーションボードA 2枚使い

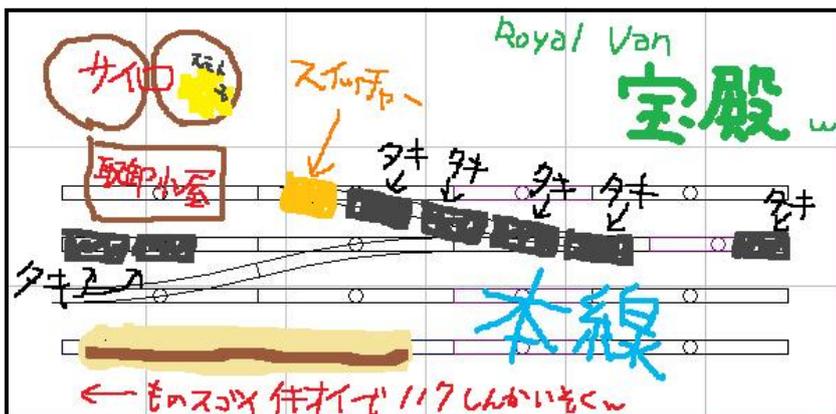


図-4 コンボネーションボードA 1枚でこんな「専用線」の再現も!



図-5 ボードをひっくり返せば高低差も再現可能!?

⑥【曲線モジュール】TOMIXのコンビネーションボードB(図一-7参照)を使用し、線路配置は同じ(図-6参照)

【解説】直線モジュール同様、接続部以外は自由。緩和曲線を再現することも可(図-5参照)

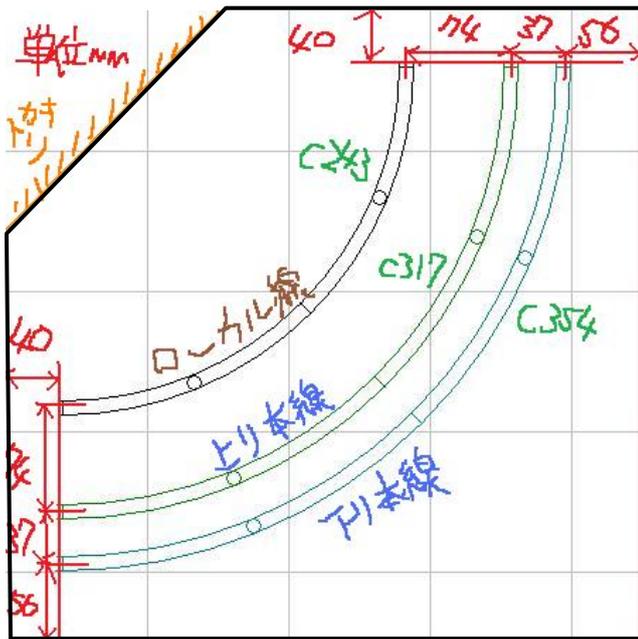


図-6 曲線モジュール基本線路配置

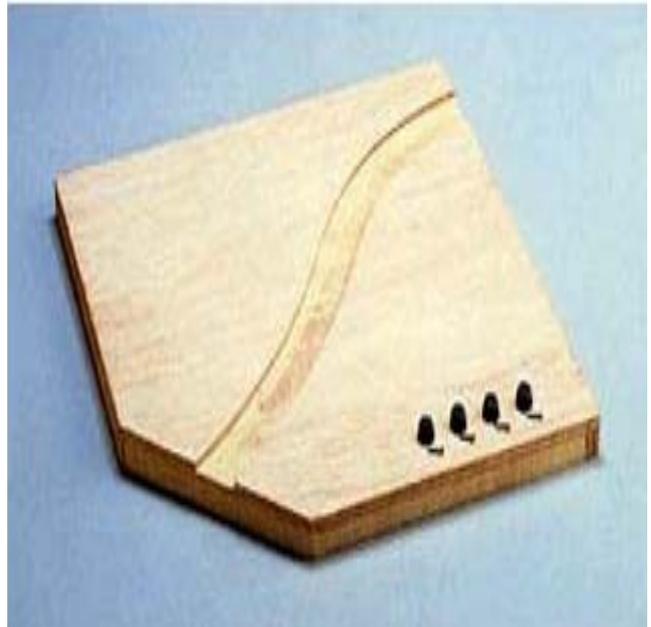


図-7 TOMIXコンビネーションボードB

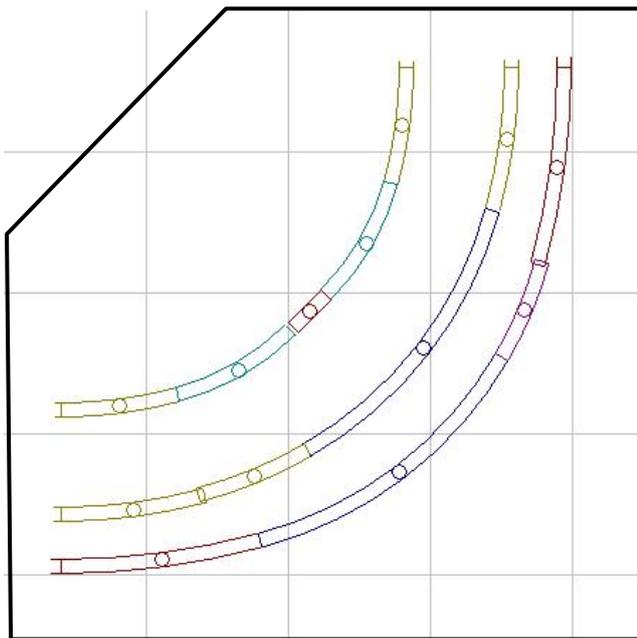


図-8 緩和曲線モジュールを作るも自由!



図-9 TOMIX 1522 バリアブルレール V70

⑦【モジュールの接続方法】ファイントラックのバリアブルレールV70線路(図-9参照)のみ??で行います。

今後の課題???

【電圧降下対策】???

【制御方法】???

【ポイント制御方法】???